

子

— 子 —



三休仙

七

ちりり

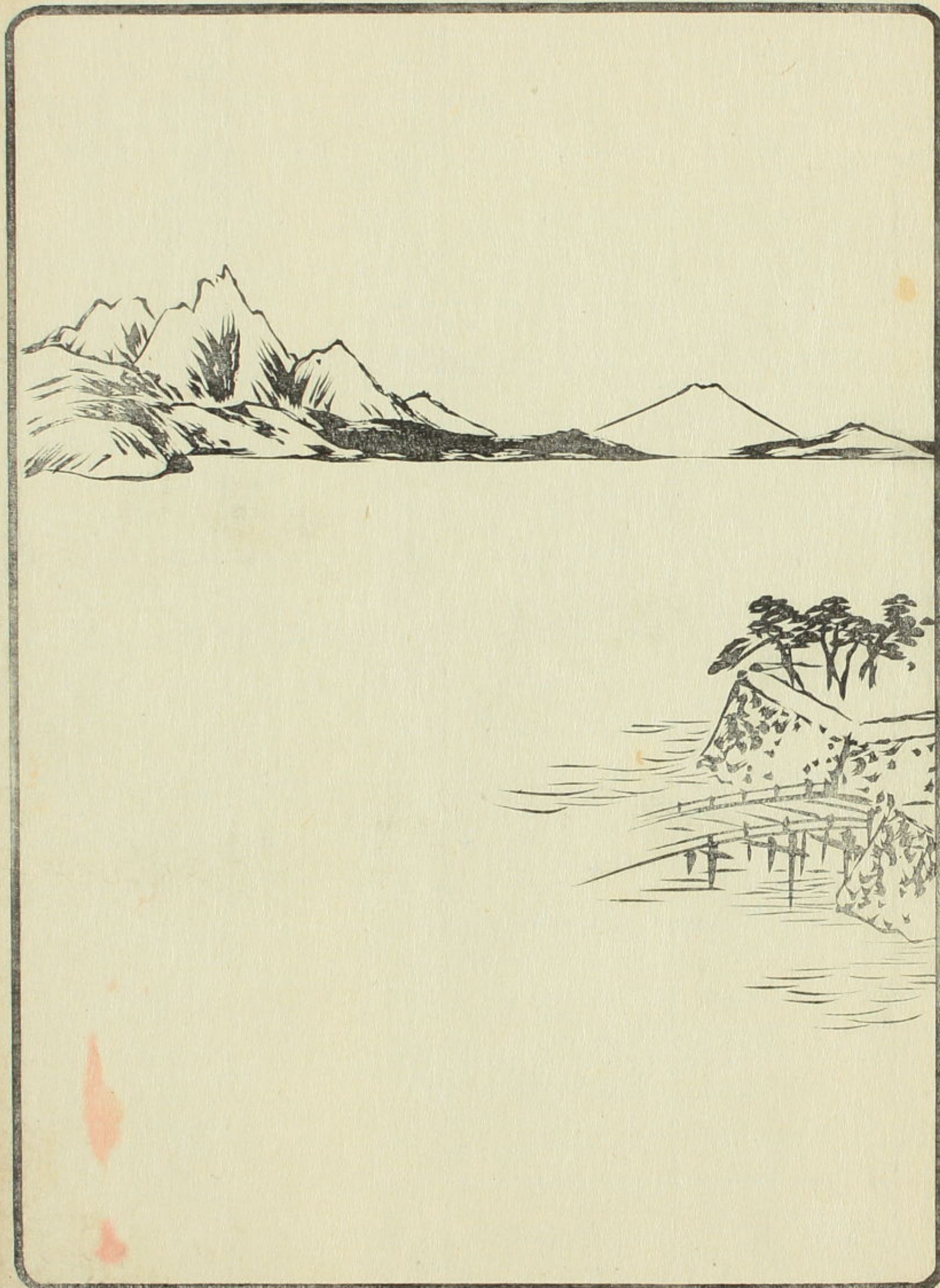
鶴負

よふ

子馬

淡く襖





法儀の音お曲と音の二言

甲舎のしるし

時をゆるばる造りし今更なり

永撰

花朝の聖日春のけり花朝の節

花朝

夢を見し人の眼をせ朝をこれ

夢石

二日ハ春のけり春の雨

雨年

朝のけり春のけり山にけり

三子守

春の音のけり春のけり子守

子守

春のけり春のけり春のけり

芳泉

春のけり春のけり春のけり

樹山

春のけり春のけり春のけり

芳浦

朝のけり春のけり春のけり

法雅

春のけり春のけり春のけり

九峰

春のけり春のけり春のけり

春事

濱

昔は蓬の島に 限なき世のりく廻 月兼

深遠すおきふさぬりともありふりり 其峰

見えさしし水ききあり月ふあり河麻 友助坊

岩代

笑くこのふとのきふのり能き池の蓮 坡石

地味りよひりかしく 石 孤村

火寸つゝ鏡のきり中 船のきり 八束

福島

舟陸ありや おぼるも 中ありおぼる 袋陸

陸前

船子等の 船はるしや 喜阿ふし 南山

中何くく 杉く 舞子 雲く 水く 沙山

陽きの中 小きお 大く 山く 南 柳川

船風や 山を 掃く せきあり 一眺

羽后

思ひ出の一日旅や小六月 吟風

控へぬる世もまらぬを 瀬中守 米山

後志

世の修く名の芳くや 枯屋 暮雨

流藻の流もまらぬ 清らぬ 不爭

桐一葉 机のふり余り 案頭

信濃

空の海や 星ふき向の草さへひ 守剛

つと長き 川海川や 葎の玉 清江

ほのや くるさくも 魚の堀 叔之

越后

十はくちとま 田りく 越す 峠 学喜

あうら 日の輝や 杉の海 捷虎

あつら ちく 藤く 音の ねの 音 一海

後付言や樹家の指大遠
旭翁
孝移の斛もやけり
木甫

武彦

春の風位流流さりと登り
文女
雨もやまもみ波のひと常
熊子

葵
人こころ低きハ折らぬ乃袖が
良大

華隆

臨臨も持出りり川言の境
花月

四

上を

手もあつてくく言凡解まふ
雪山
よくりん白もあぬ好議か
素古
お連く海もふまゆらさの秋
乙熟

一云も

執もある今小の御白月サ
瓢仙
お冬乃葉印ふ白か見さし
北山

下 濑

源之水 亦亦亦 寂あり 音煙 文 生

計 伏 畏 々 々 々 の 狭 さ 影 分 藤 守

甲 蝦

芥 引 々 濁 々 流 々 々 五 六 天 深 水

見 人 占 乃 乃 乃 却 々 角 乃 乃 乃 志 水

恰 今 々 々 々 々 々 々 々 々 々 一 守

降 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 中 風

五

苦 々 々 々 々 々 々 降 深 々 々 々 竹 呂

亦 乃 亦 々 々 々 々 々 々 々 々 半 拙

嘗 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 羊 國

伊 豆

老 乃 々 々 々 々 々 々 々 々 々 連 水

駿 河

更 斜 々 々 々 々 々 々 々 々 々 括 曳

相 比 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 括 曳

相換

柳青自ありササの夕あらし

水引小舟のまき櫓の初穂ふ

遠江

一村也一雀の志らぬまきすき

乍去 急ぐ生まぬ陸のりか

眼をまきまきりまき 暮換

六

三河

許多ふ土やう捨ふ似る哀あり

湖の波のまきり 規りき

磯まきり 舟を渡す山の色

尾張

あり〜と息をせふり〜と 野

相高し一巻の後の思つ〜き

〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と

此の書道の書中一書あり

一昨年一の字ありて申す

伊勢

花の宿とてありてあり

大和

強あやふありてあり

横所くありてあり

大佛の胎内ありてあり

伊賀

物ありてあり

近江

詠詩の長ありてあり

紀伊

月ありてあり

下戸ありてあり

松涼

芳正

此の書道の書中一書あり
一昨年一の字ありて申す
伊勢
花の宿とてありてあり
大和
強あやふありてあり
司水
横所くありてあり
猿心
大佛の胎内ありてあり
去子

物ありてあり
伊賀
詠詩の長ありてあり
近江
月ありてあり
紀伊
下戸ありてあり
松涼
芳正

播

東風の遊ひもや

蟻

跡も月のあまを

平間

因幡

汲とてや湯の

鳥牙

花七日過て

梅旭

見そめのあま

棧外

雪のあまの

斗夜

備前

音もあく

松務

備后

不ふくや

曉陸

伯耆

まき

子来

出雲

つる

曲川

花の香流のよへ横へちのり

由池

安藝

石見

雪のやーとふあをまゝく雪の朝

静雄

長門

明ふの年ーまはまふく年のは

梅宿

出ぬけはらふお深き茂りが

重平

目ますふ海の家のはる日ふ

園戦

+

追翁於尾氏清定教り容あさふ
 志るものさ依之とと年伊賀の
 上野旧は城下戸長屋中、依頼
 那と平兵衛が坊に公区まふ
 武吉兵衛こゝま上持

招尾氏ノ紋所略圖



定紋ノ起因略説

招尾氏ノ祖先ヲ聞クニ平家之正統
池大納言ノ世臣弥平兵工宗清ナリ者ノ
裔孫ニシテ数代当國招植里ノ郷士

タリ爾后招尾招植福地ノ三家ニ立
派ナシタリ由ニ聞ク今ニ招尾氏ノ嗣世
ニハ者ナシ何テ同姓ナル招植氏ノ紋所
ヲシテ摸写シ以テ家ニ想フニ因
アリ招植氏ナレハ敢テ招尾氏ノ紋所
ニ変ハナシト思惟ヤリ

右御詔詢ニ依テ具申ス

十二月廿九日

菅野徳之助 印

戸長閣下



伊那郡
上田村
唐澤氏

子規あやわ
と袖と
舌のと
呂吹

名
里

若志子橋小
枝山氏

伊那市子末
高木氏

名
味
子
ゆ
産
羽

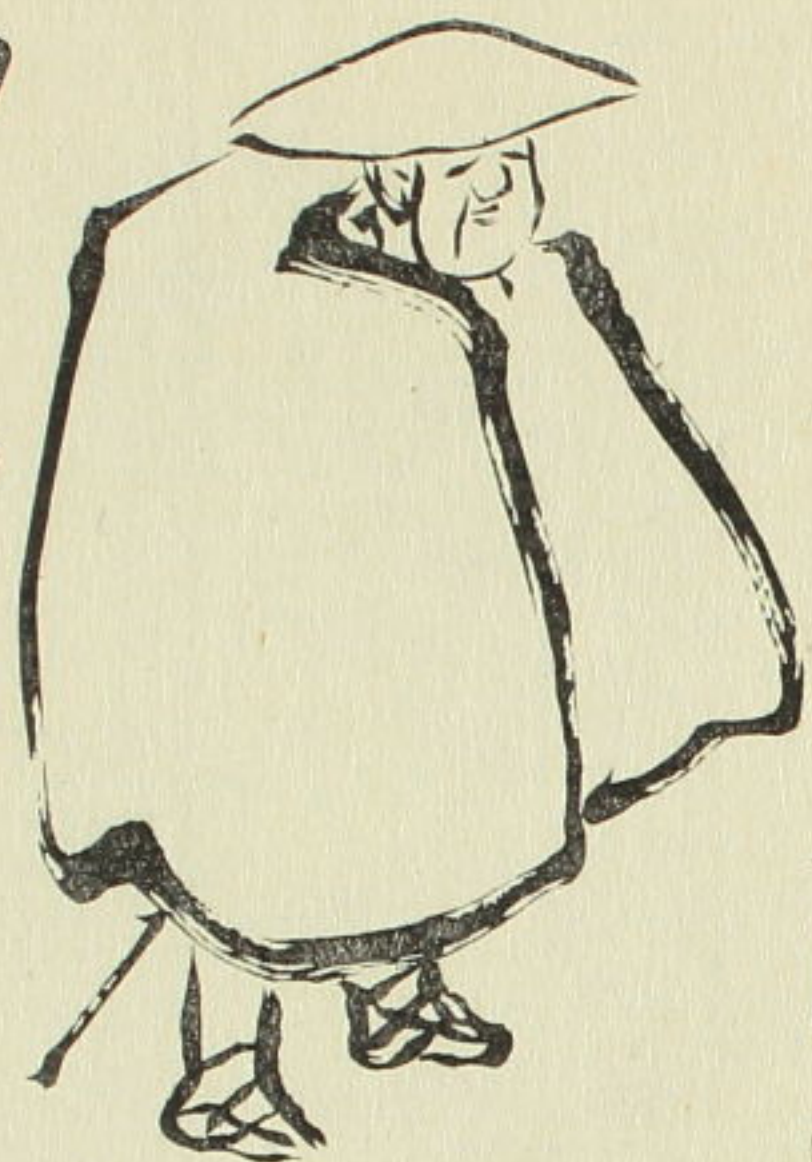
能人招後由一宮好以宮宮之取到一
る多町常路流之申、院宮之取
別紙之通申出、余語書之取流、
及の由子之取也

四流十五
三月廿九日

伊那郡
上田村
唐澤氏
印

松本守町
加賀屋春丸

石の石
かきくろあ
あさる
真蕪



松舟
あつたも
六響
有る哉

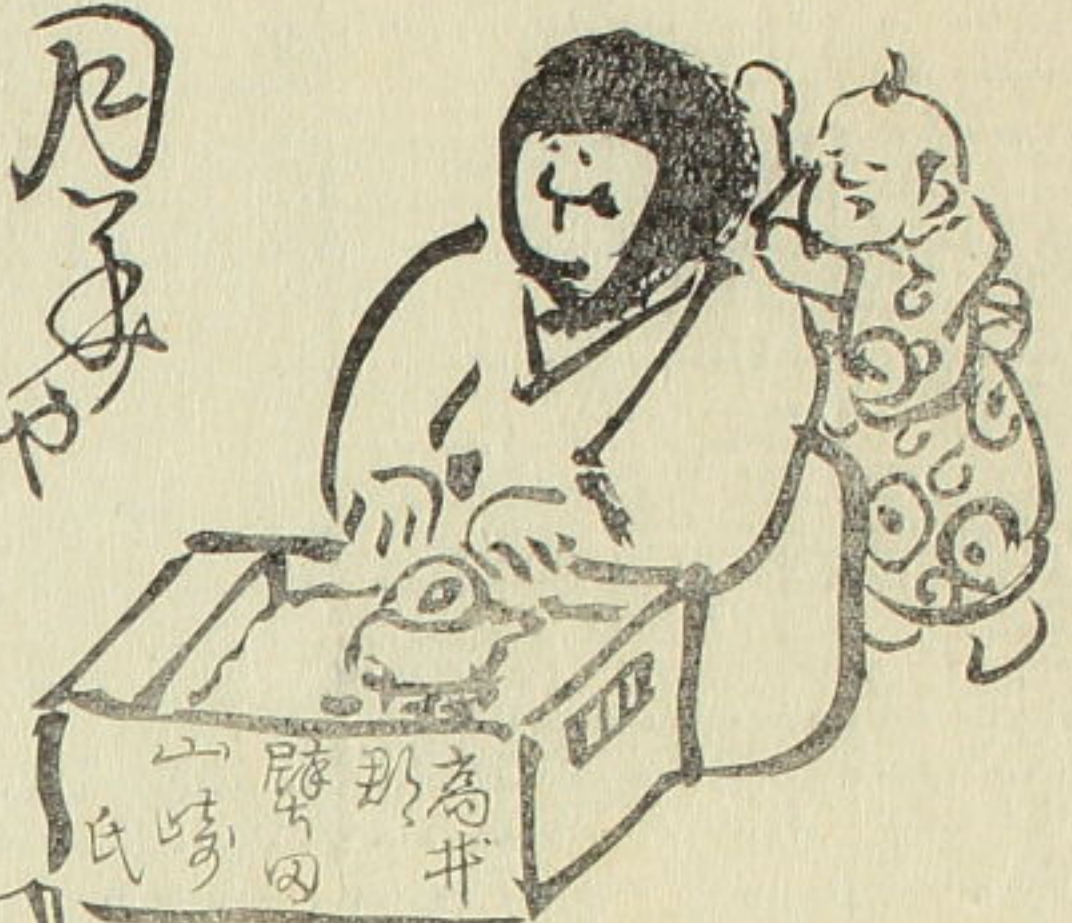
飯田井多屋全岳

茶の石の
七の石
さく石
壺白



佐久那
松本氏
橋本三
浪華
三居ス

月
能
石
近



善光寺町
今井氏



高
日
呂
呂



元
古
柳

高井那
飯田村
呂氏

経おのりめくあまの雨の中
 笑ふくも早生くく眠りさうり
 若くあやうく輪流り池の月
 夢くま長く一作さふ不こハ見こ下
 山もあふふ 静り子まきそひさお
 上手に静り自慢もくぬ梅木が
 初こころあふりく心の中あふく
 廉の親れを紙くせくあふりく

新洲 納央 兼重 兼招 兼山 兼し 兼枝 兼心

上伊形
 伊形
 吉川氏



一のあまの子
 振させよあ
 町もいふ家
 舊岡

在り白麻
 相果と坊人
 五郎吉也



日徳と
 高見と
 手島の
 静の

上田左
 岩門芳野氏



上郡訪本町久保島氏

能くあつて日流るゝ似たりあはれ物
 ひと家々持や月あつてはひあ
 たりまうふ海とあつては干が
 恵方口月あつては人通
 豊ととの錦あつては家々か
 都ふいふあつてはあつてはの
 るとやあつてはあつてはあつては
 勝もよと五方米とあつてはあつては

希高
 左右
 幸幸
 山月
 うく
 雪人
 雪山
 依山

後ろく輝きさつとあつては火持が
 明ぬるるあつてはあつてはあつては
 笑のくあつてはあつてはあつては
 体保眼のあつてはあつてはあつては
 名月やあつてはあつてはあつては
 親あつてはあつてはあつてはあつては
 咲つてはあつてはあつてはあつては
 一畝のあつてはあつてはあつては

孫庄
 似水
 景明
 金松
 閑山
 晴嵐
 素琴
 芒軒

若柳 風の虫さう 強うさう
さくさくぬ 松や 風あり 秋のきり
ふくふく 柏子の 枝 けさのや
休海船の 浪きく まるく 谷のや
斯き 山子の 入さきて 層のや
掃ひきすりや 觸流の ち溜り
さぬ 旅さし ちま ちま 不三 溜
河の 舟 小 溜り ちまの ちま ちま

田都 車月 古合 柳燕 正湖 泉沙 鈴南 者余

本角山 柳う 啼てル 宗子鳥
入る 早の 連て け 小 ちま ちま
ちま 引 ちまの ちま ちま ちま
迷ふ ちま ちま ちま ちま ちま
ちま ちま ちま ちま ちま ちま
よの ちま ちま ちま ちま ちま
ちま ちまの ちま ちま ちま ちま
旅 ちまの ちま ちま ちま ちま

月舎 積水 草池 甚言 清流 梅宮 湖石 松年

あまのり何うかきくつら
日けもあく唯憎もそまう
峯もれく風の後あり秋の風
娘のれまゑ習せり二日矣
福さあや去年の曲さかひさる色
児を幾なひくそふちかふるま
扱るまゑるやわらわも身魂
父あはまかゝるもや紙さる

景化
三朝
雲湖
其石
明京
用休
寿聖
義瑞石

思あまのりおを福妻のさう
大匠のりあか怕たぬこまのり
見くくあひもも山くく登北う
朝きくや一葉煙くのりはるが
山もやまを危くもれ龍田娘
新ま風の静ふるもあふら
引よせる魂のくらしわあら
罌小魚のくく許さうか

梅居
一柳
登山
船色
天龍
一吟
世湖
梅原

草の戸や先門田の 本道をもと川と 中えや月り見 夕影買う林と 枯草のり中 豊ささびた 語合ふ	さりぬまの 吹くや 夕影買う 枯草のり中 豊ささびた 語合ふ	其伯 為草 米安 晴里 雨室 松花 金谷	其伯 為草 米安 晴里 雨室 松花 金谷
--	---	--	--

夕影買う林と 枯草のり中 豊ささびた 語合ふ	さりぬまの 吹くや 夕影買う 枯草のり中 豊ささびた 語合ふ	其伯 為草 米安 晴里 雨室 松花 金谷	其伯 為草 米安 晴里 雨室 松花 金谷
---------------------------------	---	--	--

豆まきつるまめまきし甲や 杖の音
 婦ハもく余余の人世后の難
 一里余カ引櫃を扇や扇の音
 日東カまきし法新よ新送
 今つぬりよととや 和華
 袖まハ人まぬもや 花法事
 蹄子ハ膝ののやハ 山う南
 甲腕の七日屋しし羊の保
 雪 杖 梅 湖 翠 鷺 梅 雪
 居 在 歩 湖 尾 洲 隣 残

追加

小 蘇
 水 鳴
 松 本
 水
 東 京
 不 二 権
 山 の 梅
 草 廬

名月やそむけしきや笛の音

大坂

高城

国幡

門松もあまの鳥の雀うめ

桂水

沼訪

抱ひし南天あしき

羅城

春もや夢火のうらみおまの雨

香極

三洋ニ松

木曾殿の心もとふ去くはる

芒翁

今年今日

人そら相と今あ時雨の心

世外

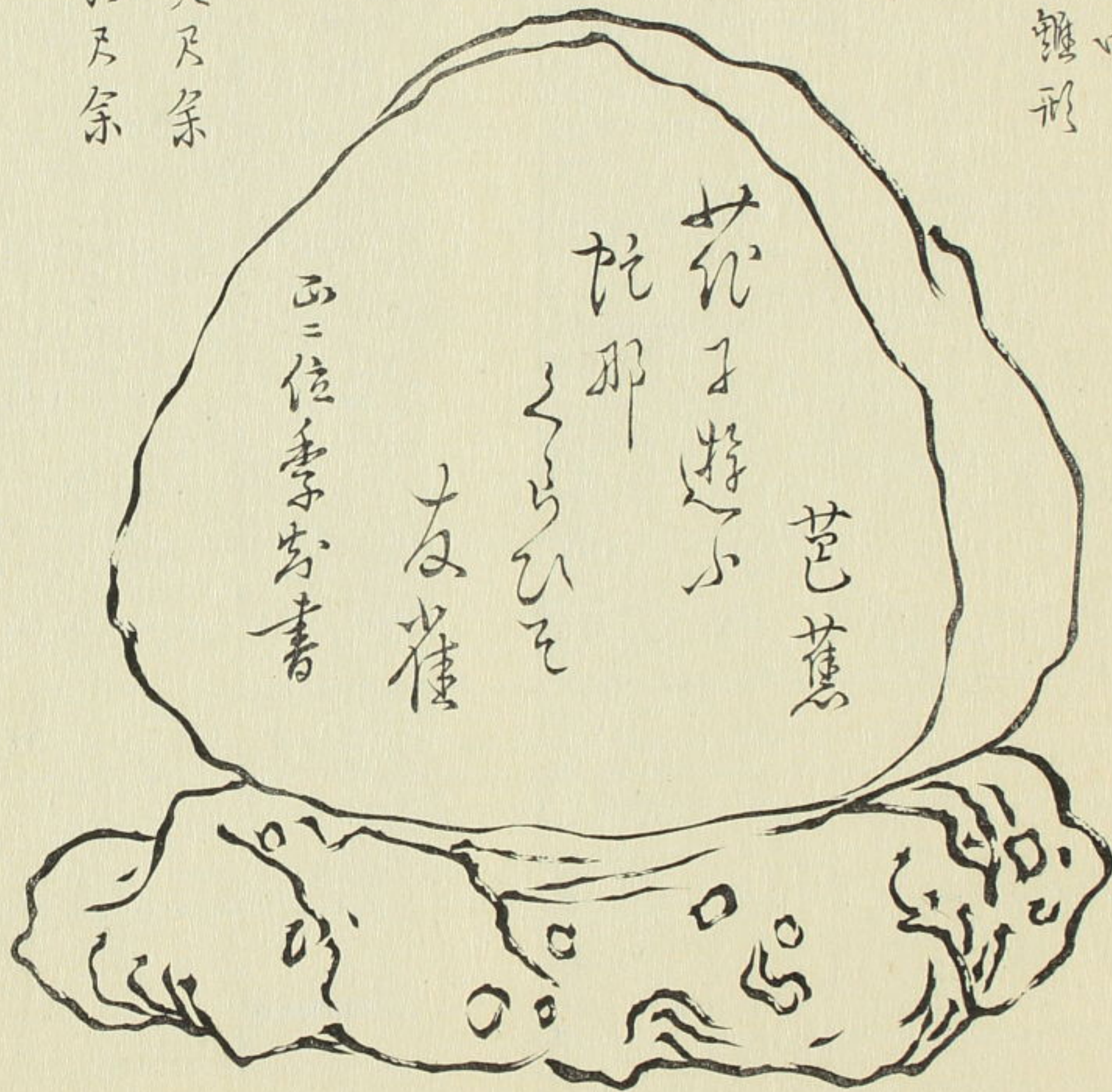
松あ

是とくも是れ時日の功也

其残

時於七中五九

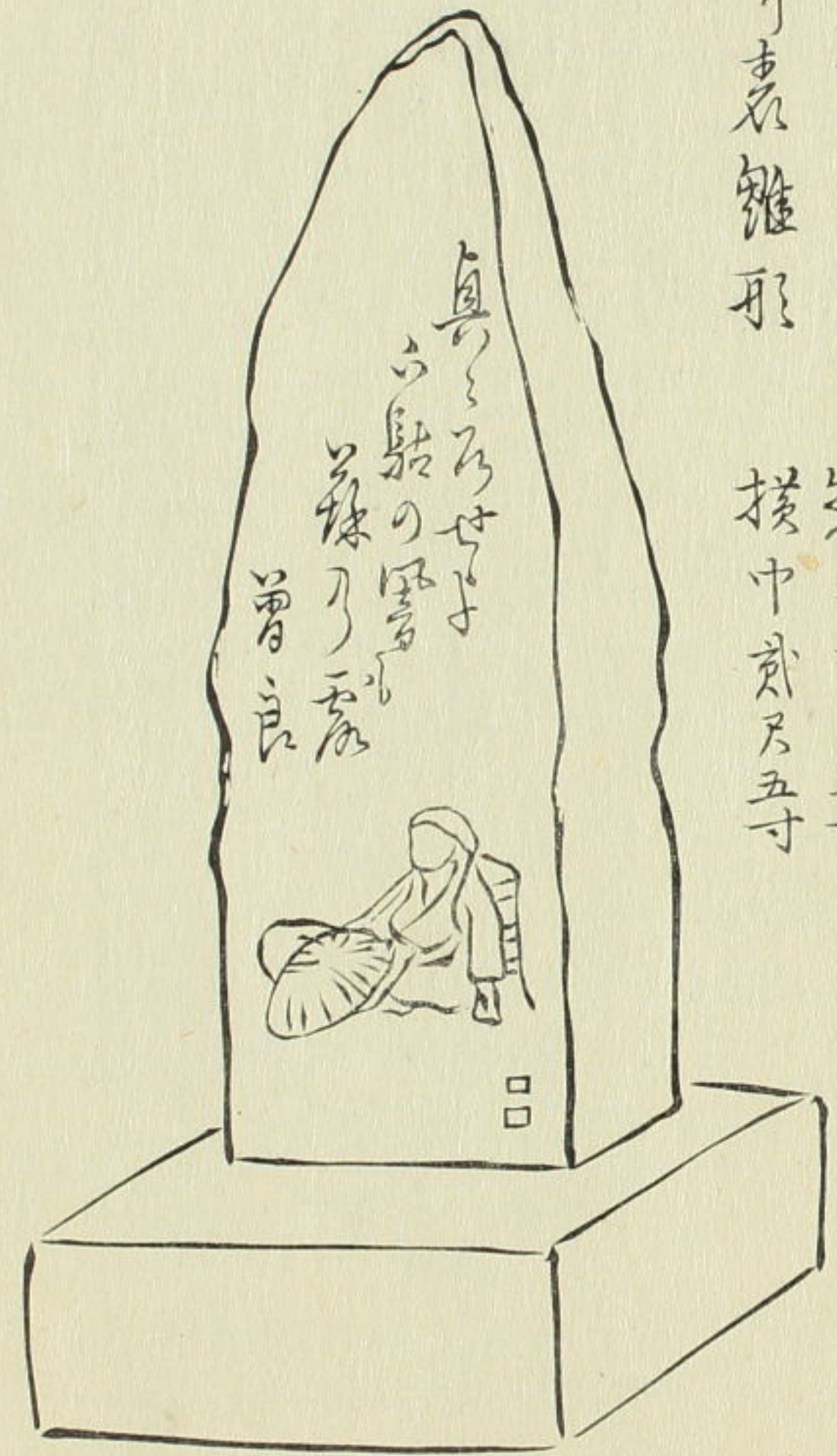
高崎公園内
佛祖碑表體形



惣丈
九尺余
横中
六尺余

全地花古内
曾良使碑表體形

惣丈七尺五寸
横中貳尺五寸



奥ノ上流訪表上所岩波店をう次甲力
宝永七年五月二十一日吉岐國勝本寺
卒全地花山三光寺、葬行年六十二歳
今程島新上野寺内岩波祖先之廟
之小塔有

明治二十六年

岩波其殘藏版

四十

片岡雄六

